

fidata AS2

Network Audio Server HFAS2

fidata

高品位音源の本来持つ
“きめ細やかな息遣い”が損なわれることなく
再現することを極限まで追求

信頼に値するオーディオコンポーネント
ーそれが“*fidata*”（フィダータ）

HFASシリーズとは

ハイエンドシステムのために生まれた、ネットワークオーディオサーバーです。
DAC搭載オーディオ機器をつなぐことで、ネットワークオーディオプレーヤーとしてもお使いいただけます。

もくじ

はじめに 4

各部の名称・機能 6

設置する 8

- ネットワークにつなぐ 9
- 電源を入れる / 切る 10
- ネットワークオーディオプレーヤーとつなぐ 11
- DAC とつなぐ 12

アプリを設定する 13

楽曲を入れる 15

- e-onkyo music から入れる 16
- mora から入れる 19
- 音楽 CD から入れる 22
- USB メモリーや USB HDD から入れる 27
- Windows から入れる 30
- macOS から入れる 32
- 空き容量を確認する 34

楽曲を再生する 35

楽曲をバックアップする 39

Spotify を楽しむ 46

Roon を利用する 46

付録 47

- 安全のために 48
- 使用上のご注意 52

困ったときには 54

アフターサービス 58

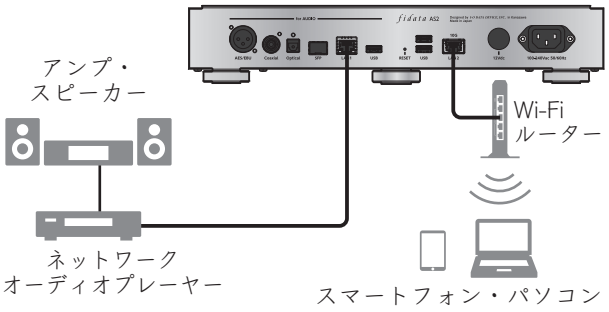
はじめに

本製品に関する情報をご説明します。

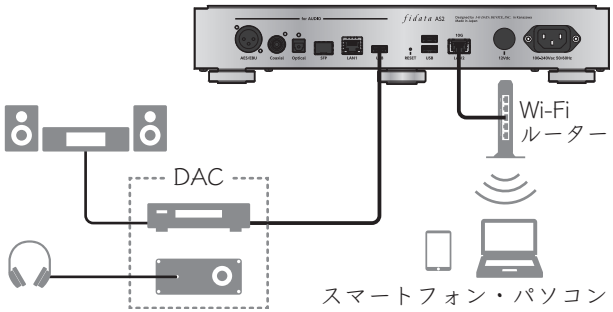
本製品の使用目的

本製品は、ホームネットワークを介してネットワークオーディオ機器に楽曲を配信するネットワークオーディオサーバーです。
楽曲を保存し、ネットワークオーディオ機器で楽曲を鑑賞できます。
また、DAC をつなぐことで、本製品をネットワークオーディオプレーヤーとして使うこともできます。

• 接続イメージ



ネットワークオーディオサーバー
として使う場合



ネットワークオーディオプレーヤー
として使う場合

添付品を確認する

☐ 電源コード　　☐ 保証書　　■ 取扱説明書（本書）

取扱説明の構成

本製品の取扱説明には、次のものがあります。

- 取扱説明書（本書）：
  本製品の基本的な使い方が説明されています。
- 詳細ガイド：
  本製品について、より詳細な説明を求める場合は、インターネット上の詳細ガイドをご覧ください。
  説明例：楽曲のメタ情報を編集する、本製品を最新の状態にする、
  設定画面の項目説明、困ったときには（FAQ） など

これらの取扱説明書は、下記Webサイトからご覧になれます

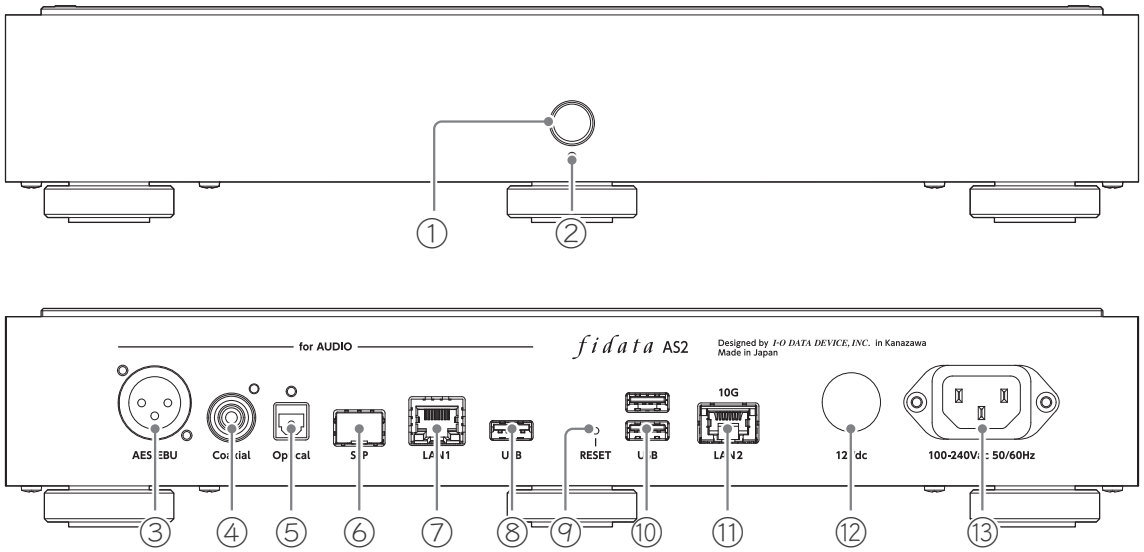
https://www.iodata.jp/p/235121

動作環境 / 仕様

詳しくは、弊社 Web ページをご覧ください。

https://www.iodata.jp/fidata/product/nas/specification.htm

各部の名称・機能



① 電源ボタン .....電源を入／切します（10 ページ）。DAC 再生を操作できます。

② ランプ .....本製品の状態を表します。

白点灯：電源入
白点滅：起動中・終了中
緑点灯：DAC で再生中
橙点灯：内部ソフトウェアを更新可能（電源を切り、再度入れる）
赤点灯:エラー（内蔵ディスクの異常、USB HDD の認識異常、USB HDD 容量不足）
消　灯：電源切
（白の点灯・点滅は設定画面で青に変更できます）

③ AES/EBU .....AES/EBU デジタル出力端子（XLR）。DAC とつなぎます。

④ Coaxial .....同軸デジタル出力端子（RCA）。DAC とつなぎます。

⑤ Optical.....光デジタル出力端子（TOSLINK）。DAC とつなぎます。

⑥ SFP.....SFP トランシーバー（モジュール）を装着し、光ファイバーケーブルやLANケーブルでネットワークオーディオ機器とつなぎます。

⑦ LAN1.....オーディオ用 LAN ポート。LAN ケーブルでオーディオ機器とつなぎます。

左側ランプ	橙点灯	1000BASE-T
	消　灯	100BASE-TX/10BASE-T/ 未接続
右側ランプ	緑点灯	接続
	緑点滅	通信中
	消　灯	未接続

⑧ USB (for AUDIO).....主に USB-DAC とつなぎます。

⑨ RESET ボタン .....電源が入っている時に、ピンなどの先の長いもので 1 秒間押すと、ネットワークなどの設定をご購入時の状態に戻します。

⑩ USB .....主に USB HDD や CD/DVD/BD ドライブとつなぎます。

⑪ LAN2.....ネットワーク用 LAN ポート。LAN ケーブルでルーターなどとつなぎます。

左側ランプ	橙点灯	10GBASE-T
	緑点灯	1000BASE-T
	消　灯	100BASE-TX/ 未接続
右側ランプ	緑点灯	接続
	緑点滅	通信中
	消　灯	未接続

⑫ 外部コネクター(12Vdc)..使用しません。

⑬ 電源コネクター .....電源コードをつなぎます。

詳細ガイド▶

設置する

ネットワークにつなぐ..... 9
本製品を Wi-Fi ルーターと電源コンセントにつなぎます。

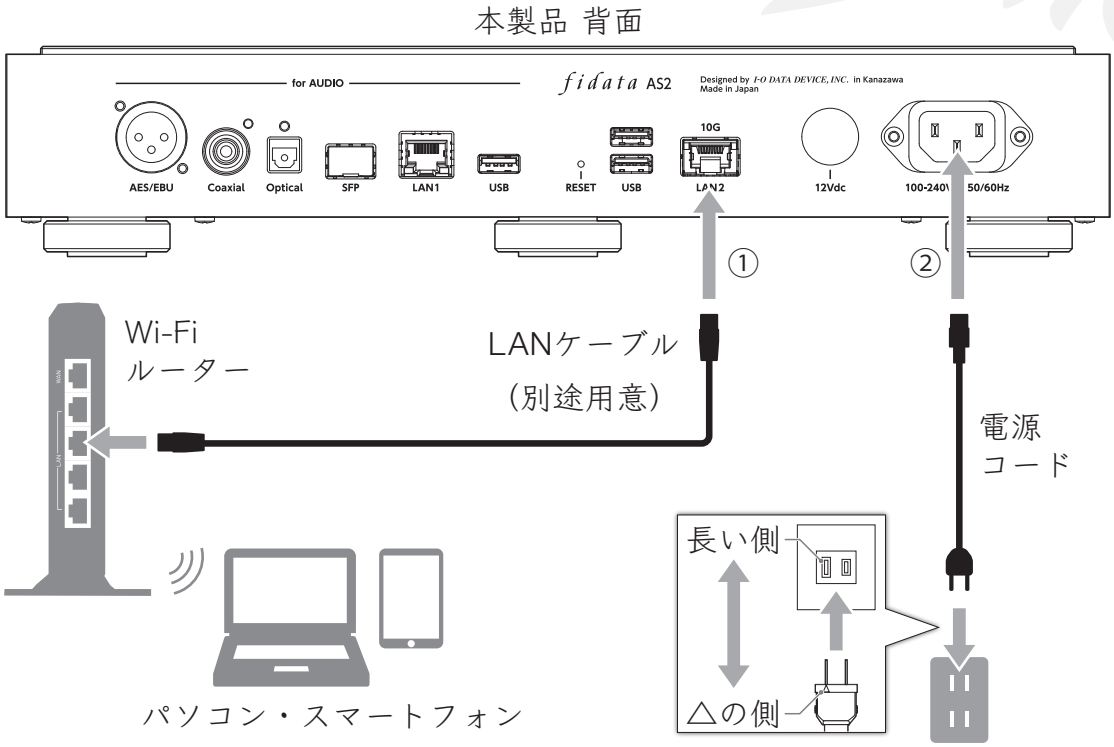
電源を入れる / 切る 10
本製品の電源を入れる方法・切る方法を案内します。

ネットワークオーディオプレーヤーとつなぐ..... 11
本製品をネットワークオーディオプレーヤーとつなぎます。LAN ケーブルだけでなく SFP トランシーバーを介して光ファイバーケーブルでつなぐこともできます。

DAC とつなぐ..... 12
本製品を DAC とつなぎます。本製品はプレーヤーとして本製品内のものも含めたネットワーク上の楽曲を DAC を通じて再生します。

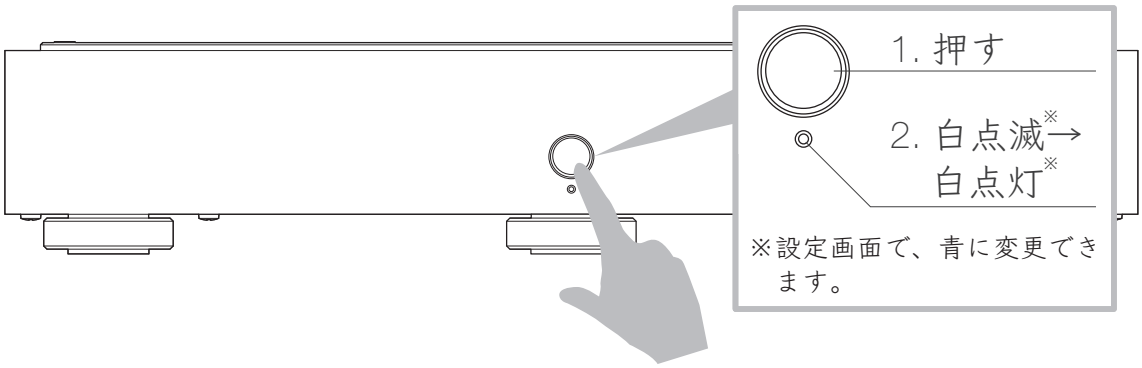
ネットワークにつなぐ

本製品を Wi-Fi ルーターと電源コンセントにつなぎます。

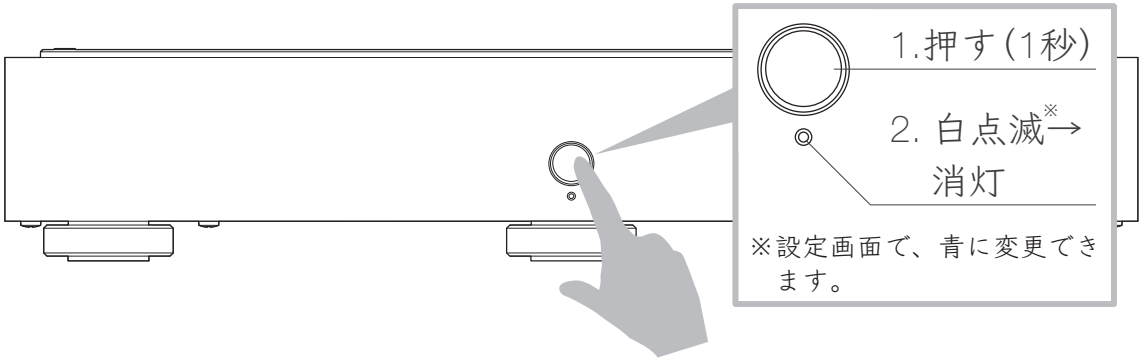


電源を入れる / 切る

電源を入れる



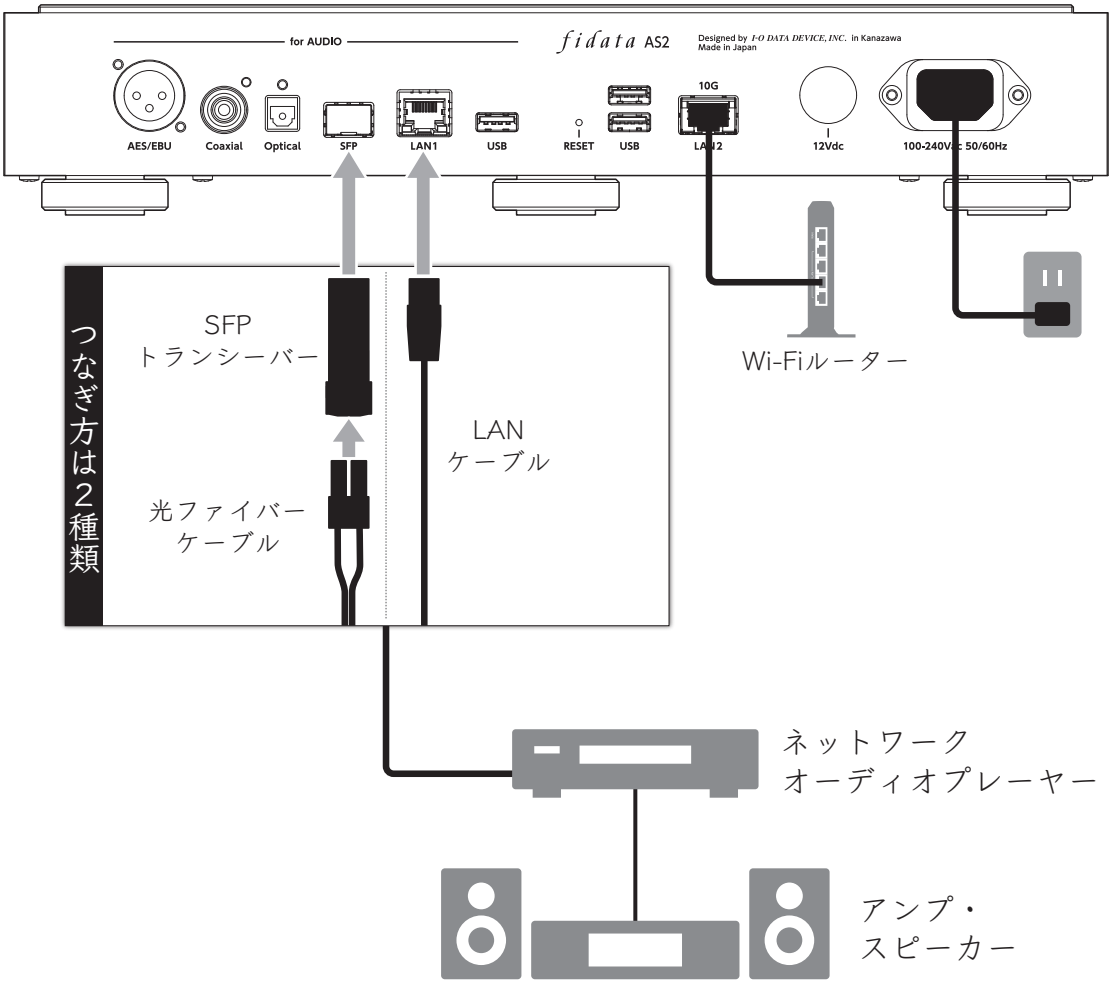
電源を切る



ネットワークオーディオプレーヤーとつなぐ

本製品をネットワークオーディオプレーヤーとつなぎます。本製品はネットワークオーディオサーバーとして、ネットワークオーディオプレーヤーに楽曲を提供します。

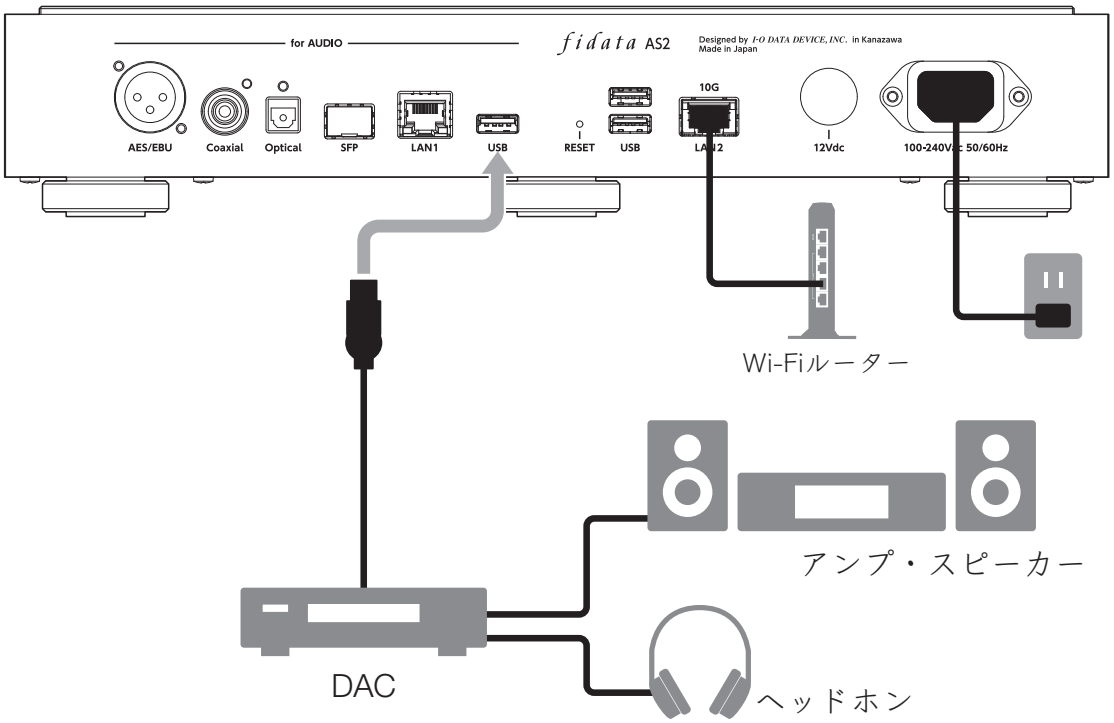
本製品 背面



DAC とつなぐ

本製品を DAC とつなぎます。本製品はプレーヤーとして本製品内のものも含めたネットワーク上の楽曲を DAC を通じて再生します。ご購入時は USB-DAC だけを認識します。

本製品 背面



USB-DAC 以外を使う場合（LAN1、SFP、Optical、Coaxial、AES/EBU）

背面の LAN1、SFP、Optical、Coaxial、AES/EBU からも USB と同じ信号を受け取れます。ただし使う前に設定画面での設定が必要です。詳細ガイドをご覧ください。

アプリを設定する

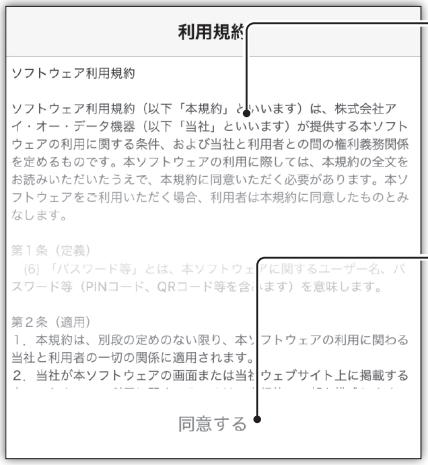
スマートフォン / タブレット用 I-O DATA 製コントロールアプリ「fidata Music App」を起動し、初回設定をします。

fidata Music App をインストールする

お使いのスマートフォン / タブレットで App Store/Google Play ストアを開き、「fidata Music App」をインストールしてください。

1 fidata Music App を起動する

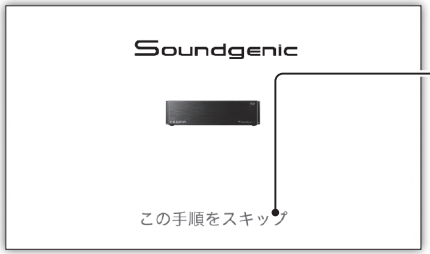
2



利用規約をよく確認する

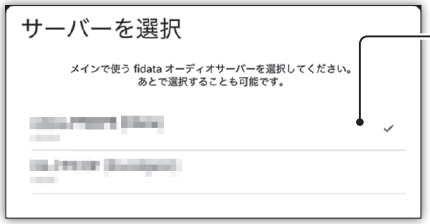
問題なければ、［同意する］をタップする

3



［この手順をスキップ］をタップする

4



画面に従って、メインで使うオーディオサーバー（本製品）とレンダラー（プレイヤー）を選択する

以上で、コントロールアプリ「fidata Music App」の初回設定は完了です。

fidata Music App ヘルプ▶

楽曲を入れる

e-onkyo music から入れる 16
　ハイレゾ音楽配信サイト e-onkyo music で購入した楽曲を、自動的に本製品に入れます。

mora から入れる 19
　音楽ダウンロード・音楽配信サイト mora で購入した楽曲を、自動的に本製品に入れます。

音楽 CD から入れる 22
　USB CD/DVD/BD ドライブをつないで、音楽 CD の楽曲を本製品に入れます。

USB メモリーや USB HDD から入れる 27
　USB メモリーや USB HDD に保存されている楽曲を本製品にコピーします。

Windows から入れる 30
　Windows パソコンに保存されている楽曲を、本製品にコピーします。

macOS から入れる 32
　Mac に保存されている楽曲を、本製品にコピーします。

空き容量を確認する 34
　本製品の空き容量を確認します。

e-onkyo music から入れる

ハイレゾ音楽配信サイト e-onkyo music で購入した楽曲を、自動的に本製品に入れます。

e-onkyo music にメンバー登録する

まず、e-onkyo music にアクセスし、［ログイン］からメンバー登録します。

https://www.e-onkyo.com/music/

※ このサイトでの操作については、e-onkyo music にお問い合わせください。

設定する

本製品を e-onkyo music と関連付けします。購入した楽曲を自動的にダウンロードするようになります。

1 fidata Music App を起動する

2



左下の ▭ をタップする

※左下に表示されていないときは、画面をフリックして切り換えてください。

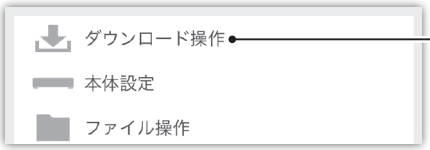
3



グレー部分をタップする

※タップできない場合は、本製品をサーバーとして選んでいない事が考えられます。▭ をタップして表示したメニュー（この手順の画面）で「HFAS」をタップして選んでください。

4



［ダウンロード操作］をタップする

5



［e-onkyo music］をタップする

6



［設定画面へ］をタップする

7

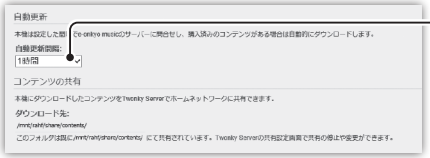


デバイス認証キーを入力し、［認証］をタップする

デバイス認証キーを入手する方法

①e-onkyo music の Web サイトにログインする
②［デバイス］をタップする
③［デバイス認証キー表示］をタップする
　⇒ デバイス認証キーが表示されます。

8



「自動更新間隔」を設定する

本製品に楽曲を入れる

1 e-onkyo music の Web サイトで楽曲を購入する

2 本製品が楽曲を自動的にダウンロードする

※ 楽曲の購入は、「更新間隔」毎に確認されます。
本製品の電源を入れたままにしておいてください。

保存される内容

楽曲ファイルは、本製品の以下の場所に保存されます。
contents > [e-onkyo] の中

すぐダウンロードしたい／ダウンロード状況を確認したい

fidata Music App で操作して、ダウンロードを促すことができます。
また、同じ画面でダウンロードの状況もこの画面で確認できます。
詳しくは、fidata Music App ヘルプをご覧ください。

これで本製品に楽曲が入りました。

mora から入れる

音楽ダウンロード・音楽配信サイト mora で購入した楽曲を、自動的に本製品に入れます。

mora にメンバー登録する

まず、mora にアクセスし、［ログイン］からメンバー登録します。

https://mora.jp/

※ このサイトでの操作については、mora にお問い合わせください。

設定する

本製品を mora と関連付けします。購入した楽曲を自動的にダウンロードするようになります。

1 fidata Music App を起動する

2



左下の ▭ をタップする

※ 左下に表示されていないときは、画面をフリックして切り換えてください。

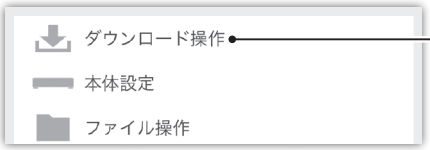
3



グレー部分をタップする

※ タップできない場合は、本製品をサーバーとして選んでいない事が考えられます。▭ をタップして表示したメニュー（この手順の画面）で「HFAS」をタップして選んでください。

4



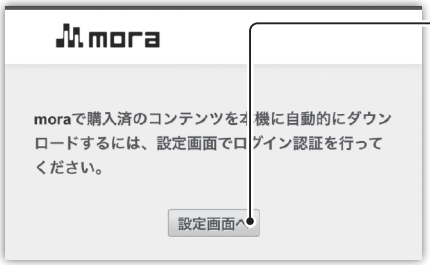
［ダウンロード操作］をタップする

5



［mora］をタップする

6



［設定画面へ］をタップする

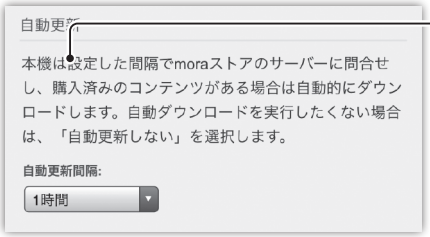
7



① moraアカウントの情報を入力する

② ［登録］をタップする

8



「自動更新間隔」を設定する

本製品に楽曲を入れる

1 mora の Web サイトで楽曲を購入する

2 本製品が楽曲を自動的にダウンロードする

※ 楽曲の購入は、「更新間隔」毎に確認されます。
本製品の電源を入れたままにしておいてください。

保存される内容

楽曲ファイルは、本製品の以下の場所に保存されます。
contents > [mora] の中

すぐダウンロードしたい／ダウンロード状況を確認したい

fidata Music App で操作して、ダウンロードを促すことができます。
また、同じ画面でダウンロードの状況もこの画面で確認できます。
詳しくは、fidata Music App ヘルプをご覧ください。

これで本製品に楽曲が入りました。

音楽 CD から入れる

USB CD/DVD/BD ドライブをつないで、音楽 CD の楽曲を 本製品に入れます。

用意するもの

- USB CD/DVD/BD ドライブ
- 音楽 CD

保存される内容

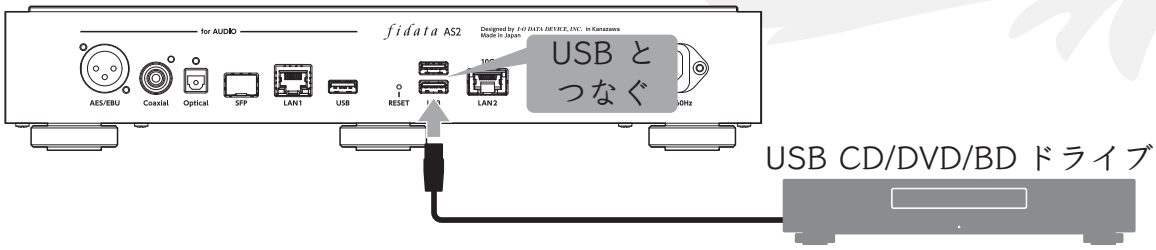
- 楽曲ファイルは、本製品の以下の場所に保存されます。
  contents > CD Library >［アーティスト名］>［アルバムタイトル］の中
- 楽曲は連番の後にタイトルが入って保存されます。(01［ 曲名］.wav など)
- 楽曲と同じ場所に「Folder.jpg」という名前のアートワークデータが保存されます。
  ※ Folder.jpg は楽曲情報提供用です。パソコンなどで開いたり、コピーすることはできません。本製品内の移動や削除はできますので、お好みの構成に変更することができます。
  ※ Gracenote がアートワークを提供していない楽曲の場合は、Folder.jpg は保存されません。

Gracenote（グレースノート）とは

音楽 CD に関する情報データベースを提供するサービスです。

手順

1



2 USB CD/DVD/BD ドライブに音楽 CD を入れる

3 fidata Music App を起動する

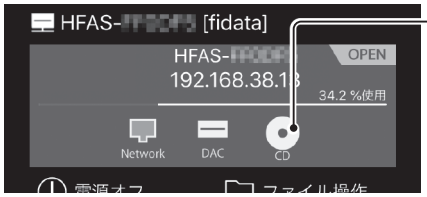
4



左下の ▭ をタップする

※左下に表示されていないときは、画面をフリックして切り換えてください。

5



(CD) をタップする

※ このアイコンがない場合は、USB CD/DVD/BD ドライブが本製品につながっているかご確認ください。
また本製品をサーバーとして選んでいない事が考えられます。▭ をタップして表示したメニュー（この手順の画面）で「HFAS」をタップして選んでください。

6



「アルバム」「アーティスト」「アートワーク」を確認・編集する

※アートワークを編集するには、下の［編集］をタップします。

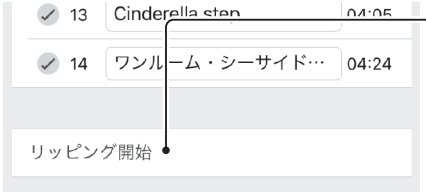
取り込む楽曲の形式を選ぶ方法

wav 形式または FLAC 形式で保存されます（初期値 wav 形式）。
［オプション］をタップし、「データ形式」を設定してください。

一部の楽曲だけをリッピングする方法

［全て解除］をタップした後、リッピングしたい楽曲だけをチェックしてください。

7



［リッピング開始］をタップする
⇒ 音楽CDの取り込み（リッピング）が始まります。

リッピング途中で画面を閉じても問題ありません

リッピング作業は本製品で引き続き実行されます。

取り込みに掛かる時間の目安

	音楽 CD の取り込みに掛かる時間※1	
	条件 1※2	条件 2※3
ドライブ A	8 分 35 秒	8 分 35 秒
ドライブ B	16 分 2 秒	16 分 3 秒

※1 70分5秒の音楽CDを使っています。数値はあくまで目安です。
お使いになるドライブやメディアによって異なります。
※2 AccurateRip:有効、リトライ処理:有効、読み込み速度:高速、
エンコード設定:WAV
※3 AccurateRip:有効、リトライ処理:有効、読み込み速度:高速、
エンコード設定:FLAC、圧縮:標準

AccurateRip（アキュレートリップ）とは

音楽 CD を正しく取り込めているかを、他の人の取り込み結果と照らし合わせて判断する機能です。

取り込み状況・結果

取り込み中：取り込み作業をしている
待機中：取り込みの開始を待っている
判定中：AccurateRip の判定、FLAC 変換処理をしている
OK（青）：取り込みが完了し、AccurateRip も他者の結果と一致した
AccurateRip NG（金）：取り込みは完了したが、AccurateRip が他者の結果と一致しなかった
NG：取り込みに失敗した

8 音楽CDが排出されたら、音楽CDを取り出す

すぐに音楽CDが排出された／ランプが赤や黄色に光った

● すぐに音楽 CD が排出され、ランプが赤く光っている
- Gracenote で楽曲情報が見つからず、音楽 CD の取り込みを中止しました。
  本製品がインターネットにつながっているかご確認ください。
  インターネットにつながっている場合、音楽 CD の楽曲情報がない状況です。
  その音楽CDを取り込むには、本製品の設定画面の[USB CD/DVD/BDドライブ設定]>「Gracenote設定」>「未登録楽曲」を[取り込む]に設定してください。
- 本製品の内蔵ディスク空き容量が不足しています。
  音楽 CD の取り込みには 3.5GB 以上の空き領域が必要です。不要なファイルを削除してから再度お試しください。

● 音楽 CD が排出された際に、ランプが赤く光っている
- 音楽 CD の汚れや傷などにより、取り込まれなかったトラックがありました。
  音楽 CD の読み取り面をご確認ください。
- 取り込み中に、ユーザー操作により音楽 CD が排出されました。

● 音楽 CD が排出された際に、ランプが黄色く光っている
- Gracenote で楽曲情報が見つかりませんでしたが、音楽 CD を取り込みました。
  取り込んだ楽曲にメタ情報が付与されているかご確認ください。
  楽曲情報が見つかったときだけ取り込むには、設定画面の［USB CD/DVD/BD ドライブ設定］>「Gracenote 設定」>「未登録楽曲」を［取り込まない］（初期値）に設定してください。
- AccurateRip で他者の結果と一致しませんでしたが、音楽 CD を取り込みました。
  取り込んだ楽曲が正しく再生できるかご確認ください。

これで本製品に楽曲が入りました。

USB メモリーや USB HDD から入れる

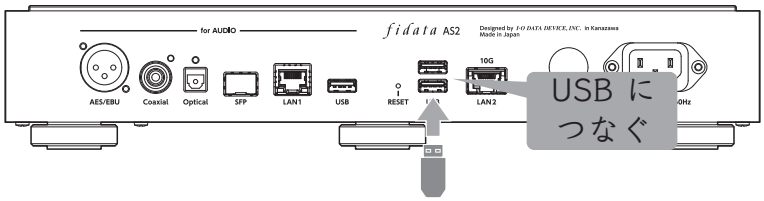
USB メモリーや USB HDD に保存されている楽曲を本製品 にコピーします。

用意するもの

- 楽曲が入った USB メモリーや USB HDD

手順

1



楽曲が入った
USB メモリーや USB HDD

2 fidata Music App を起動する

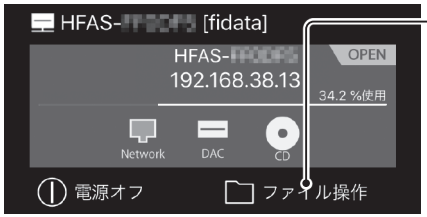
3



左下の をタップする

※左下に表示されていないときは、画面をフリックして
切り換えてください。

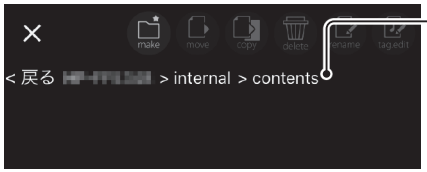
4



［ファイル操作］をタップする

※ グレー部分に情報がない場合は、本製品をサーバーとして選んでいない事が考えられます。 をタップして表示したメニュー（この手順の画面）で「HFAS」をタップして選んでください。

5



楽曲の保存場所を表示する

※ 楽曲は「contents」フォルダーに入れます。contents フォルダー内に保存用のフォルダーを作って整理するのをおすすめします。

保存するフォルダーを作る方法

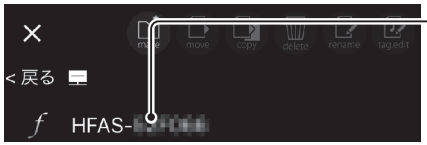
（make）をタップしてください。

6 画面をスワイプし、もう片側のペイン（表示区画）を表示する

※ タブレットの場合、この操作は不要です。
（ペインが２つとも表示されます）



7



［HFAS］をタップする

8



[USB1 ～ 3] をタップする

9



コピーしたいUSB内の楽曲やフォルダーをチェックする

10



(copy) をタップする

11



(paste) をタップする

12 チェックした楽曲がコピーされます

これで本製品に楽曲が入りました。

Windows から入れる

Windows パソコンに保存されている楽曲を、本製品にコピーします。

用意するもの

- 本製品と同じルーターにつないだパソコン

「LAN DISK コネクト」をインストールする

本製品にアクセスするためのアプリです。
下の Web ページにアクセスし、パソコンにインストールしてください。
https://www.iodata.jp/lib/product/l/5160.htm

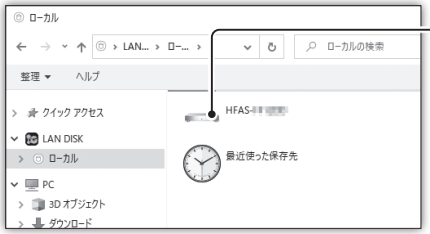
手順

1 デスクトップ上の [LAN DISK] を実行する

2 

[ローカル] をダブルクリックする

3



 をダブルクリックする

本製品のアイコンが表示されない/グレー表示される

本製品がつながっている Wi-Fi ルーターにパソコンをつないでください。

4



[contents] をダブルクリックする

本製品内のフォルダーについて

本製品の詳細ガイドをご覧ください。

5 楽曲を入れる

楽曲は「contents」フォルダーに入れます。

これで本製品に楽曲が入りました。

macOS から入れる

Mac に保存されている楽曲を、本製品にコピーします。

用意するもの

- 本製品と同じルーターにつないだ Mac

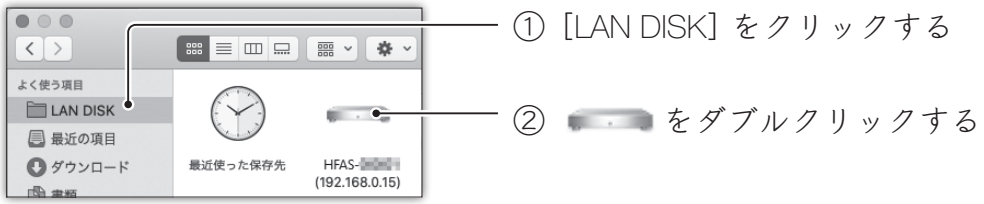
「LAN DISK コネクト」をインストールする

本製品にアクセスするためのアプリです。
下の Web ページにアクセスし、パソコンにインストールしてください。
https://www.iodata.jp/lib/product/l/5160.htm

手順

1 「Finder」を起動する

2



本製品のアイコンが表示されない

本製品がつながっている Wi-Fi ルーターに Mac をつないでください。

3



[contents] をダブルクリックする

本製品内のフォルダーについて

本製品の詳細ガイドをご覧ください。

4 楽曲を入れる

楽曲は「contents」フォルダーに入れます。

これで本製品に楽曲が入りました。

空き容量を確認する

本製品の空き容量を確認します。

1 fidata Music App を起動する

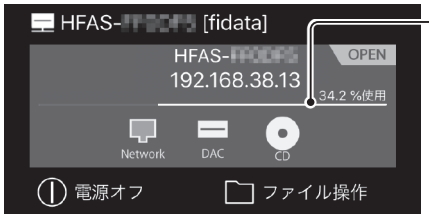
2



左下の ▭ をタップする

※左下に表示されていないときは、画面をフリックして切り換えてください。

3



空き容量が表示されます。

※グレー部分に情報がない場合は、本製品をサーバーとして選んでいない事が考えられます。▭ をタップして表示したメニュー（この手順の画面）で「HFAS」をタップして選んでください。



本製品内の楽曲を削除する

fidata Music App のファイル操作で、楽曲を削除できます。
詳しくは、fidata Music App ヘルプをご覧ください。

fidata Music App ヘルプ▶

楽曲を再生する

fidata Music App で楽曲を再生します。

1 fidata Music App を起動する

2



「アーティスト」や「アルバム」などをタップし、再生したい楽曲を表示する

楽曲が見つからない場合

- 画面右上側にある ▭ をタップした後、[本製品] → [ミュージック] とタップしてください。
- 画面右上に ▭ がない場合、フリックでペイン（画面区分）を切り換えてください。
- 本製品の電源を確認してください。

3



楽曲をタップして、プレイリストに登録する
⇒ タップした楽曲は、右側(プレイリストペイン）に登録されます。

楽曲を登録できない場合

右下の ◉ をタップして、レンダラー（プレーヤー）を選んでください。

4 画面をスワイプし、もう片側のペイン(プレイリストペイン)を表示する



※ タブレットの場合、この操作は不要です。
(ペインが2つとも表示されます)

5



楽曲の登録を確認する

登録した楽曲の順番を変える方法

楽曲名やアルバム名の右にある☰をドラッグして、曲順を変更します。

楽曲の登録を削除する方法

- iOS 版の場合
  楽曲を左へフリックし、表示された［削除］をタップします。
- Android 版の場合
  楽曲を左端までフリックします。

楽曲の登録ルールを変える方法



（new）：タップした楽曲を再生します。他の楽曲はプレイリストから削除します。（楽曲リストで選んで再生する操作感）



（now）：タップした楽曲を、プレイリストの最後に登録します。また、登録した楽曲を再生します。



（next）：タップした楽曲を、プレイリストの現在再生中の楽曲の次に登録します。



（later）：タップした楽曲を、プレイリストの最後に登録します。（初期値）

プレイリストを保存する方法



（save）をタップすると、今のプレイリストをローカルプレイリストとして本アプリに保存できます。

詳しくは、fidata Music App ヘルプをご覧ください。

6



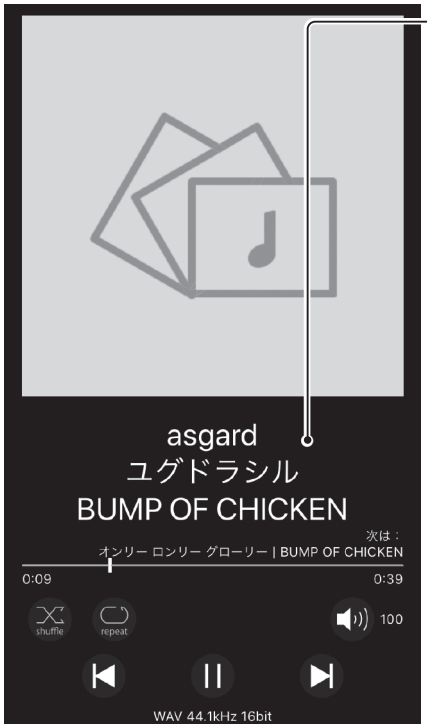
最初に再生する楽曲をタップする
⇒ 楽曲の再生が始まります。

7



最初に再生する楽曲をタップする
⇒ 楽曲の再生が始まります。

8



楽曲情報やアートワークが大きく表示されます。楽曲をお楽しみください。

元の画面に戻る方法

楽曲名のあたりをタップすると、元の画面に戻ります。

楽曲をバックアップする

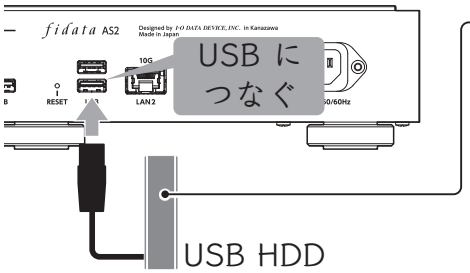
本製品の内蔵ディスクに入れた楽曲を、つないだ USB HDD にバックアップできます。

USB HDD をバックアップ用として登録する 39

USB HDD（バックアップ用）から楽曲を復元する ... 42

USB HDD をバックアップ用として登録する

1



バックアップ用に使いたいUSB HDDをつなぐ

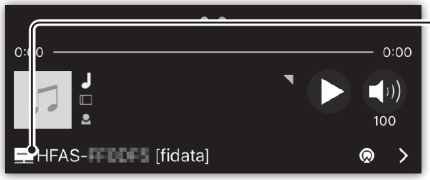
※本製品の容量と同じか、より大きいUSB HDDを使ってください。

ご注意：この手順では、他のUSB機器をつながないでください

USB HDD（バックアップ用）は、バックアップ用に登録され、中のデータは消去されます。間違えて大事なデータを消さないよう、この操作でつなぐ USB HDD は 1 台だけにしてください。

2 fidata Music App を起動する

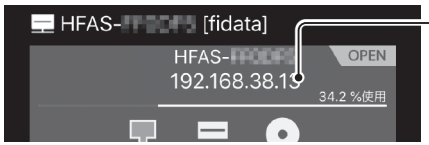
3



左下の ▭ をタップする

※左下に表示されていないときは、画面をフリックして切り換えてください。

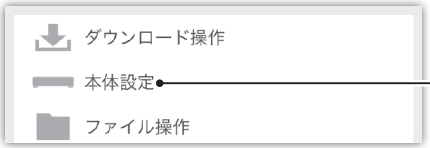
4



グレー部分をタップする

※タップできない場合は、本製品をサーバーとして選んでいない事が考えられます。▭ をタップして表示したメニュー（この手順の画面）で「HFAS」をタップして選んでください。

5



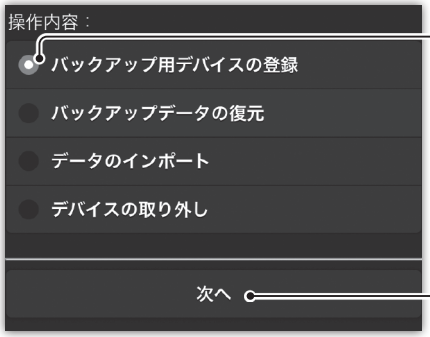
［本体設定］をタップする

6



［USB デバイス操作］をタップする

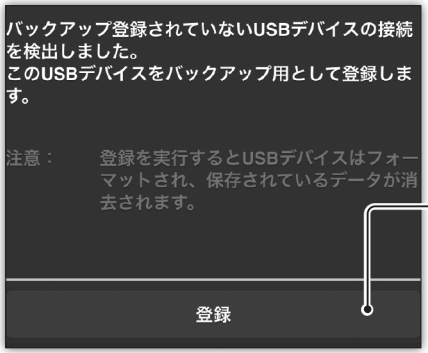
7



①［バックアップ用デバイスの登録］を選ぶ

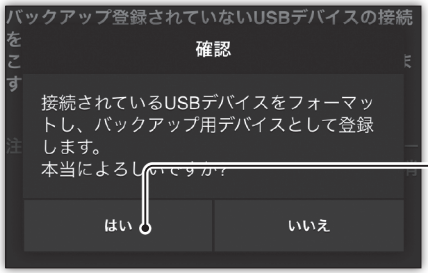
②［次へ］をタップする

8



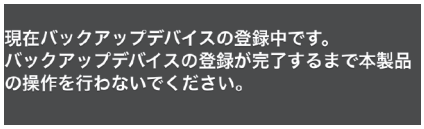
注意事項を読み、［登録］をタップする

9



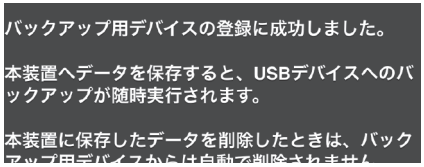
［はい］をタップする

10



USB HDD が登録されるまで待つ

11



「バックアップ用デバイスの登録に成功しました。」と表示されたことを確認する

これで USB HDD はバックアップ用として登録されました。
今後 USB HDD（バックアップ用）をつないでおくだけで、楽曲はバックアップされます。

USB HDD を取り外す

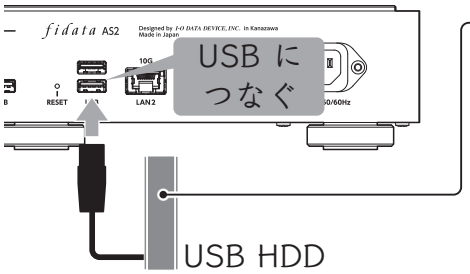
USB HDD は、本製品の電源を切ってから取り外してください。
楽曲のバックアップのため、USB HDD（バックアップ用）を
時折つないでください。差分がバックアップされます。
本製品の電源を入れたまま USB HDD を取り外す方法については、
fidata Music App ヘルプをご覧ください。

時折、バックアップした楽曲を整理してください

楽曲の追加・削除を繰り返していると、USB HDD（バックアップ用）の容量が圧迫されてきます。
詳細ガイドの「楽曲ファイルを削除する」をご覧になり、「bkup」フォルダー内の不要な楽曲を削除してください。
USB HDD（バックアップ用）がいっぱいになると、ランプが赤く点灯し、バックアップできなくなります。

USB HDD（バックアップ用）から楽曲を復元する

1



2 fidata Music App を起動する

3



左下の ▭ をタップする

※左下に表示されていないときは、画面をフリックして切り換えてください。

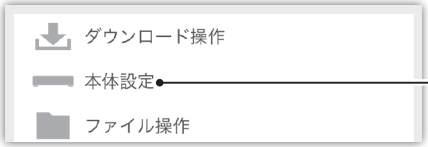
4



グレー部分をタップする

※タップできない場合は、本製品をサーバーとして選んでいない事が考えられます。▭ をタップして表示したメニュー（この手順の画面）で「HFAS」をタップして選んでください。

5



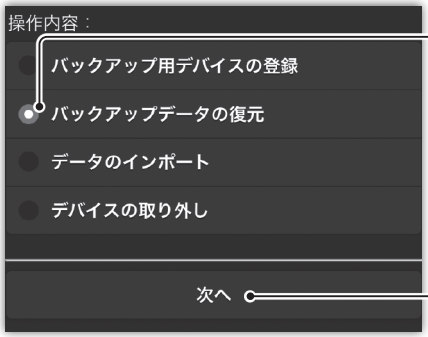
［本体設定］をタップする

6



［USB デバイス操作］をタップする

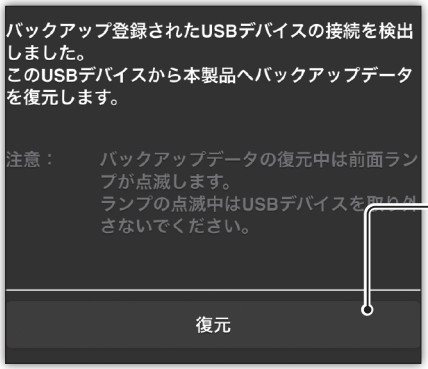
7



① [バックアップデータの復元] を選ぶ

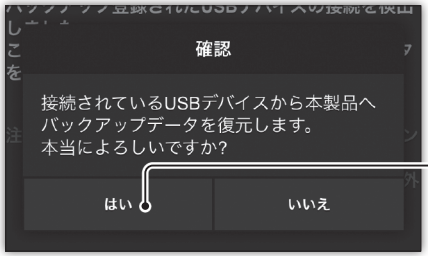
② [次へ] をタップする

8



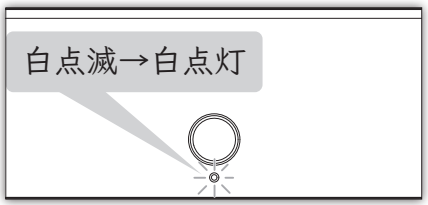
注意事項を読み、[復元] をタップする

9



[はい] をタップする
⇒ 楽曲の復元が始まります。

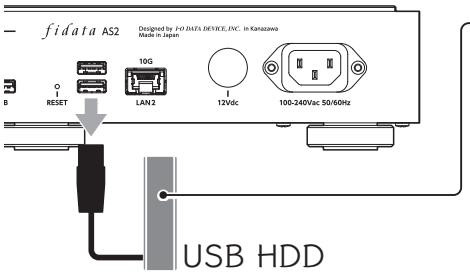
10



ランプが点滅するので、点灯に戻るまで待つ

※ランプの点滅中には、USB HDD を取り外さないでください。

11



USB HDD（バックアップ用）を取り外す

バックアップを続けたい場合

一度 USB HDD（バックアップ用）を取り外した後、もう一度つなぎなおしてください。

これで楽曲は復元されました。

詳細ガイド▶

Spotify を楽しむ

Spotify は世界中の多彩なジャンルの楽曲をインターネットを通じて利用できる音楽ストリーミングサービスです。
スマホ、タブレットをリモコンにして、本製品につないだ DAC から Spotify の音楽を楽しめます。詳しくは https://spotify.com/connect をご覧ください。

設定方法などは右上の QR コードから詳細ガイドをご覧ください。

詳細ガイド▶

Roon を利用する

「Roon」 は Roonlabs 社が提供する総合音楽管理サービスです。
これまでは PC などに Roon Core をインストールし Roon を構成する必要がありましたが、fidata に搭載された Roon Core を利用することで、PC を準備することなく、Roon の世界を体験できます。
USB-DAC のほか、Roon Ready 対応のネットワークプレーヤー等で再生可能となります。
具体的な設定方法は、右上の QR コードから詳細ガイドをご覧ください。
※ ご利用には、Roon の利用アカウント (有償) が必要です。
※ 本サービスは、Roon Labs 及び外的な要因によって予告なく利用できなくなる可能性があります。

付録

安全のために 48

使用上のご注意 52

安全のために

▼危険・警告・注意表示

⚠ 危険	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重症を負う危険が生じます。
⚠ 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重症を負うことがあります。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼絵記号の意味

	禁止
	指示を守る

⚠ 危険



本製品を修理･分解･改造しない

本製品火災や感電、やけど、故障の原因になります。

⚠ 警告

雷が鳴り出したら、本製品や電源コードに触れない
感電の原因になります。

ぬらしたり、水気の多い場所で使わない
水や洗剤などがかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。
- お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
- 水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に置かないでください。
- 万一、本製品がぬれた場合は、絶対に使わないでください。

本製品の小さな部品（ネジなど）を乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込み、窒息や胃などへの障害の原因になります。万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。

本製品の周辺に放熱を妨げるようなものを置かない
発火の原因になります。

本製品の取り付け、取り外し、移動は、必ず周辺機器および本製品の電源を切り、コンセントから電源コードを抜いた後にする
電源コードを抜かずに上記の行為をすると、感電の原因になります。

煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐに使うのを止める
そのまま使うと発火・感電の原因になります。

故障や異常のまま、つながない
必ずつないでいる機器から取り外してください。
そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。

電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない
電源コードから発煙したり、発火の原因になります。

AC100V（50/60Hz）以外のコンセントにつながない
発火、発熱のおそれがあります。

電源コードにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない
電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。
電源コードの芯線（電気の流れるところ）が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。

ゆるいコンセントにつながない
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。
発熱して発火の原因になります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードに傷がつき、発火や感電の原因になります。

添付の電源コードは、他の機器につながない
発火や感電の原因になります。
添付の電源コードは、本製品専用です。

コンセントまわりは定期的に掃除する
長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つもったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。（トラッキング現象）
トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。

煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く
そのまま使うと発火・感電の原因になります。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない
発火の原因になります。

熱器具のそばに配線しない
電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。

テーブルタップを使用するときは定格容量以内で使用する / たこ足配線はしない
テーブルタップの定格容量（「1500W」などの記載）を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

⚠ 注意

長時間にわたり一定の場所に触れ続けない
本製品を一定時間使うと、本製品が熱く感じる場合があります。
長時間にわたり一定の場所に触れ続けると、低温やけどを起こすおそれがあります。

人が通行するような場所に配線しない
足を引っ掛けると、けがの原因になります。

使用上のご注意

- 本製品はローカルネットワーク上でご利用ください。
  本製品にグローバルIPアドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。ルーターを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保をおこなってください。
- 本製品の時刻を正しく合わせておく必要があります。インターネットに接続可能な環境で、タイムサーバーと同期する設定（出荷時設定）でのご使用をおすすめします。
- 本製品の内蔵ディスクに非常に多くのデータが書かれている場合、本製品の起動時間が通常より数分長くかかる場合があります。
- 前面のランプ点滅中に電源コードを抜いたり、本製品の電源を切らないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。
- ファイアウォールソフトにより、本製品へアクセスできない場合があります。その場合、ファイアウォールソフト側で、137 ～ 139 番、445 番のポートをアクセス許可してください。

譲渡・廃棄の際のご注意

- システム初期化を利用し、データを完全消去してください。
  情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のためのソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめいたします。
  ※ 本製品上の楽曲について
  本製品上の楽曲などを削除することなく本製品を譲渡すると、著作権法に抵触する場合があります。
- 本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

【重要】定期的にバックアップしてください

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。
万一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」してください。
本製品または接続製品の保存データの毀損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などをすることもできません。なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

- バックアップとは
  本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体（HDD、BD/DVD など）にデータの複製を作成することです。（データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが 2 か所にあることを「バックアップ」と言います。）
  万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップしてください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

困ったときには

【重要】最新の状態でご利用ください

本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェア（内部ソフトウェア）またはソフトウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。最新版でない場合、保証適用を受けられない場合もあります。

※ インターネットにつないでいると、自動的に最新版を入手する機能があります。
　下の【前面のランプがオレンジに点灯している】をご覧ください。

前面のランプがオレンジに点灯している

- **本製品の新しいバージョンを検出しています**
  本製品の電源を切り、もう一度電源を入れてください。
  本製品が最新の状態にアップデートされます。

本製品のアイコンが表示されない（LAN DISK コネクト）

- **パソコンが本製品と同じネットワークにつながっていない**
  パソコンを、本製品をつないだルーターにつないでください。

本製品のアイコンがグレーで表示される（LAN DISK コネクト）
設定画面を開けない（LAN DISK コネクト）

- 本製品がパソコンと同じ IP アドレスのセグメント（グループ）にいない

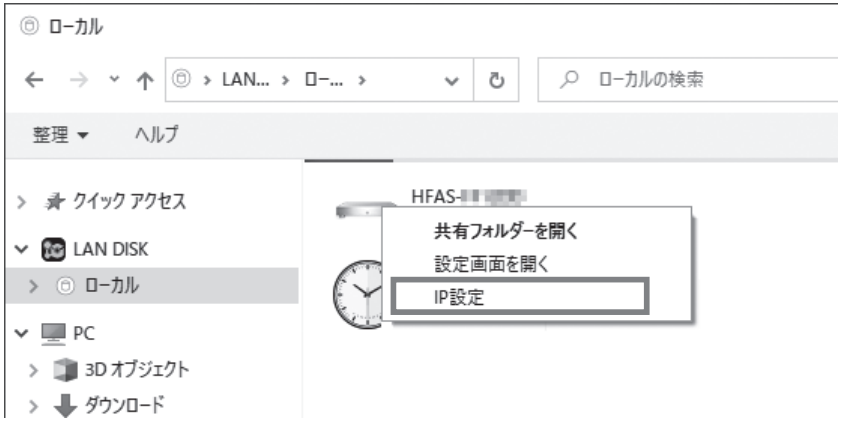
  本製品の IP アドレスを、普段お使いのパソコンと同じセグメント（グループ）になるように設定します。

1. 本製品をルーターにつなぎなおす

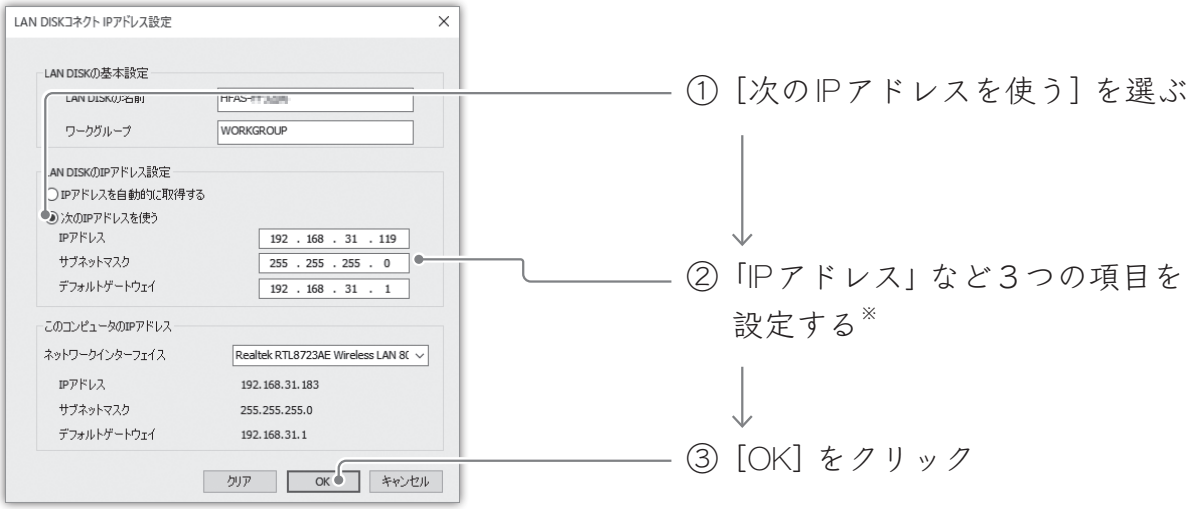
   本製品の電源を切り、一度ルーターから取り外してから、再度つなぎます。その後、本製品の電源を入れ、１分ほど待ってから問題が解決していないか確認してください。

2. IP設定画面を開く

   LAN DISKコネクトで本製品のアイコン（ [redacted] ）を右クリックし、[IP設定]をクリックします。



3.「IPアドレス」など３つの項目を設定する



※「このコンピュータのIPアドレス」に表示された値を参考にします。

IPアドレス：「.」で区切られた３つ目までの値は同じに、最後の値を少し変えて設定します。

サブネットマスク：値を同じにします。

デフォルトゲートウェイ：値を同じにします。

4.問題が解決したか確認する

前面のランプが赤く点灯している

- **バックアップ先の USB HDD の容量が足りないことが考えられます**
  fidata Music App でバックアップ先（bkup フォルダー）にアクセスし、不要なファイルを削除してください。　【本製品内の楽曲を削除する】（34 ページ）参照。
- **バックアップ先の USB HDD に問題が発生していることが考えられます**
  USB HDD が正しくつながっているかご確認ください。
  正しくつながっている場合、USB HDD が故障しているおそれがあります。
  また、はじめてつなぐ USB HDD は、本製品でフォーマットしてください。
- **本製品の内蔵ディスクに問題が発生していることが考えられます**
  USB HDD を取り外した後、本製品の電源を切り、また電源を入れてください。
  起動完了後に前面のランプが赤点灯する場合は、内蔵ディスクに問題が発生しています。サポートセンターにお問い合わせください。
  【アフターサービス】（58 ページ）参照。
- **音楽 CD を取り込み中の場合、取り込みに問題がありました**
  【すぐに音楽 CD が排出された／ランプが赤や黄色に光った】（26 ページ）参照。

アフターサービス

本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから５年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、５年以前に各対応を終了する場合があります。

個人情報の取り扱いについて

個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー※に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

※ **https://www.iodata.jp/privacy.htm**

お問い合わせいただく前に、以下をご確認ください

- 「困ったときには」を参照
- サポートページの Q&A を参照
- 最新のソフトウェアをダウンロード

https://www.iodata.jp/p/235121

それでも解決できない場合は、サポートセンターへ

電話：**050-3116-3015**

※ 受付時間　9:00～17:00　月～日曜日（年末年始・夏期休業期間をのぞく）

インターネット：**https://contact.iodata.jp/sp/inquiry/landisk**

Memo

Memo

【ユーザー登録はこちら】・・・**https://ioportal.iodata.jp/**
ユーザー登録にはシリアル番号（S/N）が必要となりますので、メモしておいてください。
シリアル番号（S/N）は本製品貼付のシールに印字されている 12 桁の英数字です。
（例：ABC1234567ZX）

【使用ソフトウェアについて】

- 本製品には、GNU General Public License Version3（GPLv3）に基づいた、ソフトウェアが含まれています。変更済み GPL 対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、以下の Web ページをご確認ください。
  http://www.gnu.org/licenses/gpl-3.0.ja.html
  これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。
- 本製品には、OpenSSL Project が、OpenSSL Toolkit(http://www.openssl.org) での使用のために開発したソフトウェアが含まれています。
  本製品には Eric Young(eay@cryptsoft.com) により作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。
  本製品には Tim Hudson(tjh@cryptsoft.com) により作成されたソフトウェアが含まれています。

【商品アンケートはこちら】
お気づきの点がございましたら
アンケートにご協力願います。

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising fro m use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 私的使用のための複製など著作権法上認められた場合を除き、本製品を使用して作成した画像、音声等を、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【商標について】

• 記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

音楽をこよなく愛する皆様へ

最高のひとときのお手伝いができれば幸いです

I-O DATA

MANU001089